

めぐみイエス・キリスト教会

2017年12月10日(日)第二主日礼拝
週報「通算第385号」



2017年標題聖句

ピリピへの手紙2章13節～16節

神は、み心のままに、あなた方のうちに働いて、
志を立てさせ、ことを行なわせてくださるのです。

すべてのことを、つぶやかず、疑わずに行ないなさい。

それは、あなた方が、非難されるところのない純真な者となり、
また、曲がった邪悪な世代の中にあって傷のない神の子供となり、
命の言葉をしっかり握って、彼らの間で世の光として輝くためです。

主日礼拝毎週日曜日 午前10時～11時

聖書研究・祈禱会 毎週水曜日 午後6時15分～7時15分

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◇◆◇2017年12月10日(第二主日礼拝)

午前10時～11時

司会 鈴木 ますみ さん 奏楽 佐野 みゆきさん

◎礼拝プログラム

【前奏・祈祷】

【賛美Ⅰ】新聖歌75 「神の御子は」 p. 102

【交読文】No.37 詩篇119篇 p. 909

【賛美Ⅱ】新聖歌209 「いつくしみ深き」 p. 316

【使徒信条】 【主の祈り】

【先週のメッセージの概要】

【賛美Ⅲ】オリジナルNo.2 「あなたと共にいつまでも」

【聖書朗読】ヨハネの福音書13章4節～12節(新約p. 189)

【祈 禱】

【メッセージ】《弟子の足を洗うキリスト》鈴木竜実牧師

【聖餐式】 【平和の祈り】

【賛美Ⅳ】新聖歌165「栄光イエスにあれ」 p. 235

【頌 栄】新聖歌63「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷・後奏】

●ポイント1 イエス様は、なぜ弟子たちの足を洗われたのか？

※ルカの福音書9章46節～48節【変貌の山から降りた後に】(新約p.120)

9:46 さて、弟子たちの間に、自分たちの中で、だれが一番偉いかという議論が持ち上がった。

9:47 しかしイエスは、彼らの心の中の考えを知っておられて、ひとりのももの手を取り、自分のそばに立たせ、

9:48 彼らに言われた。「だれでも、このような子どもを、私の名のゆえに受け入れる者は、私を受け入れる者です。また、私を受け入れる者は、私を遣わされた方を受け入れる者です。あなたがたすべての中で一番小さい者が一番偉いのです。」

※マタイの福音書20章20節～24節【サロメと二人の息子】 (新約p.37)

20:20 そのとき、ゼベダイの子たちの母が、子どもたちと一緒にイエスのもとに来て、ひれ伏して、お願いがありますと言った。

20:21 イエスが彼女に、「どんな願いですか。」と言われると、彼女は言った。「私のこのふたりの息子が、あなたの御国で、ひとりあなたの右に、ひとりは左にすわれるようにお言葉を下さい。」

20:22 けれども、イエスは答えて言われた。「あなたがたは自分が何を求めているのか、わかっていないのです。私が飲もうとしている杯を飲むことができますか。」彼らは「できます。」と言った。

20:23 イエスは言われた。「あなたがたは私の杯を飲みはします。しかし、私の右と左にすわることは、この私の許すことではなく、私の父によってそれに備えられた人々があるのです。」

20:24 このことを聞いたほかの十人は、このふたりの兄弟のことで腹を立てた。

※ヨハネの福音書15章12節【ゲッセマネの園への道程にて】(新約p.193)

15:12 「私があなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合うこと、これが私の戒めです。」

●ポイント2 「上着を脱がれ」また「上着を着けて」とは？

※ヨハネの福音書10章17節～18節【パリサイ人への言葉】 (新約p.181)

10:17 「私が自分のいのちを再び得るために自分のいのちを捨てるからこそ、父は私を愛してくださいます。」

10:18 だれも、私からいのちを取った者はいません。私が自分からいのちを捨てるのです。私には、それを捨てる権威があり、それをもう一度得る権威があります。私はこの命令を私の父から受けたのです。」

●ポイント3 イエス様が足を洗われた真の意味とは？

※ローマ人への手紙6章3節～11節【使徒パウロの教えから】(新約p.272)

◎先週のメッセージの概要【その愛を余すことなく】

《使徒ヨハネは、主イエス様の最後の一週間に、その福音書のかなりのページを割いています。特に13章から20章までは、いわゆる最後の晩餐からイエス様の十字架の死に至るまでを明確に、かつ綿密に書き描いています。

13章からは、カトリック教会では「聖金曜日」と呼ばれている日から始まっています。ユダヤ暦は現代の太陽暦とは異なり、午後六時から新しい一日が始まります。よって最後の晩餐は、今で言うならその日、つまり木曜日の夕食となるわけです。その夕食の時に、イエス様は愛を示される行為を弟子たちになさいます。それが「洗足式」なのです。イエス様は、上着を脱がれます。当時、洗足は奴隷がする仕事でした。この時イエス様は、師であられる立場から、奴隷の身分まで身を低くされ、弟子たちの足を洗われました。やがてご自分を裏切ることとなる、イスカリオテのユダの足をも洗われたのです。

さて、三つの共観福音書には、なぜかこの「洗足式」のことは書き記されてはいません。それゆえあえてヨハネが、何十年も経て後、ここに書き記したとも言えるのです。

イエス様は、一度上着を脱がれます。しかし、洗足を終えてから再び上着を着ることになります。これは、復活を予表しているのです。

またイエス様がここになされた行為については、使徒パウロが、ピリピ書に書き記し、詳しく説明しています。

『キリストは、神の御姿であられる方なのに、神のあり方を捨てることができないとは考えないで、ご自分を無にして、仕える者の姿をとり、人間と同じようになられたのです。キリストは人としての性質をもって現われ、自分を卑しくし、死にまで従い、実に十字架の死にまでも従われたのです。』と。

私たちの救い主は、極限に至るまで、その身を低くして下さいました。何ゆえに。それは、私たち一人一人を本当に愛しておられたからです。》

◎お知らせ

1. 次回、12月17日(日)の礼拝は、少し時間を遅らせ、午後6時30分からとなります。また次回祈祷会は、12月13日(水)に行ないます。なお年内は12月20日(水)が最後の祈祷会となり、新年は、1月10日(水)がスタートとなります。
2. 鈴木師は、12月11日(月)ITCNとTPCお昼の礼拝の奏楽を担当します。
3. 12月31日(日)に、今年最後の礼拝を午前10時から行ないます。

